



歴史的遺産である豊後街道菊陽杉並木を走るSL



外国青年が英語指導助手として来町



農業祭



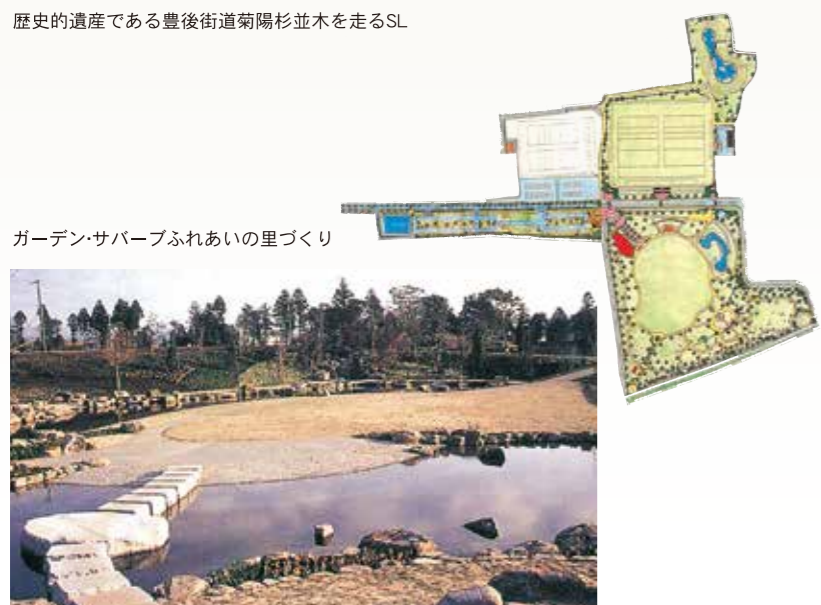
菊陽空港線全線開通



くまもと未来国体「アーチェリー競技」を応援する子どもたち

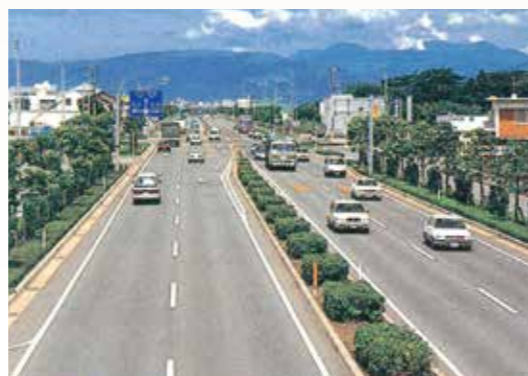


総合交流ターミナル施設“さんふれあ”



ガーデン・サバプふれあいの里づくり

菊陽杉並木公園



菊陽バイパス全線開通（三里木付近）



ハートフルくまもと大会をご訪問された皇太子殿下・同妃殿下



JR豊肥本線電化運行開始（三里木駅）

昭和60年代

- 昭和60年 4月 武蔵ヶ丘北小学校開校  
(株名古屋精密金型操業開始  
(原水工業団地に移転予定))
- 昭和61年 8月 豊後街道が「日本の道100選」に選ばれる
- 昭和62年 3月 菊陽第一土地区画整理事業工事着手  
サンリー菊陽寿屋オープン（現イオン菊陽店）
- 昭和63年 8月 外国青年が英語指導助手として来町  
(以後毎年2人)
- 11月 第1回農業祭開催（現すぎなみフェスタ）

平成元年～平成9年

- 平成元年 3月 公共下水道一部供用開始  
防災行政無線システム供用開始
- 11月 「町民憲章」・「町木（杉）、町花（菊）、町の鳥（ひばり）」制定
- 平成2年 7月 榊林兼デリカ操業開始（現榊マルハニチロ九州）
- 10月 「ガーデン・サバプふれあいの里」づくり事業がリーディング・プロジェクトの地域指定を受ける
- 平成3年 9月 台風19号により町内各地に被害発生
- 11月 第2テクノパークの建設が決定  
(現セミコンテクノパーク)

- 平成4年 4月 菊陽バイパス全線開通（6.7キロ）
- 12月 第3空港線全線開通
- 平成6年 4月 ごみの指定袋制（有料化）スタート
- 5月 鹿児島県屋久町と姉妹都市盟約締結
- 平成7年 3月 「菊陽町史」発刊
- 4月 シルバー人材センター発足
- 平成9年 4月 県立技術短期大学校開校
- 12月 菊陽空港線全線開通  
菊陽第二土地区画整理事業工事着手

平成10年代

- 平成10年 2月 武蔵ヶ丘東ニュータウン（光の森）土地区画整理事業工事着手

- 3月 大菊土地改良区発足
- 6月 菊陽杉並木公園“さんさん”オープン
- 7月 菊池広域連合発足
- 平成11年 3月 国体道路東西線、南北線全線開通
- 9月 台風18号により町内各地に被害発生
- 10月 JR豊肥本線電化運行開始  
高円宮殿下・同妃殿下を奉迎し、くまもと未来国体開催（さんさん公園でアーチェリー競技）
- 11月 皇太子殿下・同妃殿下を奉迎し、ハートフルくまもと大会開催（さんさん公園でアーチェリー競技）
- 平成12年 4月 介護保険制度スタート
- 6月 総合交流ターミナル施設“さんふれあ”オープン（温泉、物産品販売所など）